

月刊

スクール・オブ・インターネット

SOI

連・載

インターネットで学べる学校

通信

WIDE大学 スクール・オブ・インターネットは「インターネット上の大学」です。

このコーナーでは毎月SOIプロジェクトのトピックスをご紹介します。

Vol.2

* WIDE 大学 *

<http://www.sfc.wide.ad.jp/soi/>

SOI 受講方法を徹底解説

まず登録してみよう

第1回の「SOI通信」では、SOIの概要について簡単な説明をしました。SOIが何を狙っているのか、授業がどのように進められているのかといったことがわかりただけではないでしょうか。今回はSOIの受講方法について詳しく説明していきたいと思います。もしまだ受講するかどうか迷っている方がいらしたら、ぜひ参加してみてください。それでは、トップページの「事務局」のコーナー①にある入学案内をクリックしてみましょう。

SOIの学生に求められている条件は、(1)現在メールアドレスを持っていて電子メールで連絡がとれること、(2)ホームページを見ることができることの2つです。あとは履修する場所も時間も、学生が自由に選ぶことができます。

入学手続きは、ウェブ上で行います。メールアドレスと、パスワード、氏名などを入力すると手続きが完了します。また、今後のカリキュラムや授業体系の参考にするためのアンケート調査を行っていますので、ぜひご協力ください。

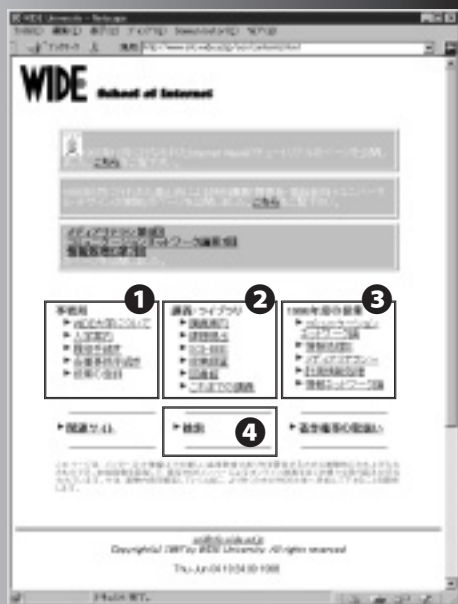
履修申告したら内容を確認

入学手続きが済んだら、次は各講座の履修手続きに移ります。現在公開されている授業については「1998年度の授業」③にまとめられているので、ここを見ながらどの講座を受講するかを決めましょう。

受講する講座を決めたら、「事務局」①の履修手続きをクリックしてください。先に登録したメールアドレスとパスワードを入力すると、履修登録の画面になります。各講座とも『履修』と『聴講』、『なし』のうちから1つ選択してください。『履修』はレポートを提出する必要があり、終了時には成績が付けられます。授業を聞くだけの場合は『聴講』となります。

申告を済ませると、自分が申告した内容を確認するメールが、登録したメールアドレスに送られてきます。これを必ず確認して、誤りがあったら登録作業をなおしてください。

これでSOIの授業を受けるための準備が完了しました。それでは授業を見ていきましょう。



SOIプロジェクトトップページ

URL <http://www.sfc.wide.ad.jp/soi/>

授業はウェブブラウザとリアルプレイヤーで

授業を受けるのに必要なのは、ウェブブラウザとリアルプレイヤー（バージョン5.0以上を推奨）です。大学で行われている実際の授業をビデオ収録したリアルビデオと、テキストやスライドなどをHTML化したマテリアルをシンクロさせて、授業の進行と同じように進めていくのです。

リアルビデオならば同じ部分を繰り返して見ることができますし、わからないことが出てきたらストックされている過去の授業を参照することもできるので、自分のペースで勉強できるのです。

また、過去の授業や講演に出てきたキーワードを検索する機能④もあるので、図書館のような使い方もできます。



授業の流れはビデオで把握



授業で使われたスライドはブラウザで表示

わからないことがあったら掲示板で質問

試験や休講などに関するお知らせは、ウェブ上の掲示板「SOI-BBS」に掲示されます。SOI-BBSは、ちょうど大学の連絡掲示板と同じような役割を果たしているのです。SOIの授業を受けるときは、毎回必ず確認してほしいページです。

実際に教室で授業を受ける場合は、わからないことがあったら講師や助手にその場で質問

することができますね。実際に顔を合わせずに授業を行うSOIでは、このような質問もウェブ上のSOI-BBSで受け付けています。

ソフトの設定や課題の提出の方法など、わからないことがあったらSOI-BBSをのぞいてみてください。過去に同じような質問があれば参考になると思いますし、新たに質問を書きこめば担当のスタッフが答えてくれます。



掲示板は講座ごとに設けられている

課題提出はウェブで登録

課題が出る授業では、締め切りまでにレポートをまとめて提出しなければなりません。提出は、電子メールでレポート提出専用のあて先に送るか、ウェブで登録することになります。

ウェブで登録する場合は、受講者が自分のホームページ上にレポートを作成し、そのURLを課題提出のページで登録します。こうして提出されたレポートは提出と同時に公開されるので、ほかの人がどのような考察を持っている

かを知ることできますし、またそのレポートに対する感想を書きこむこともできるのです。

感想は課題提出ページから参照できるほか、レポートの作者には直接メールで送られます。こうすることによって、授業についての感想を離れたところにいる受講者どうして共有したり、問題点について話し合ったりすることができるのです。



自分が作成したレポートのURLを登録する

講座紹介・・・

SOIの講座の見どころをご紹介します

コミュニケーションネットワーク論

担当：村井純（慶應義塾大学）



教室内をくまなく歩いて精力的に授業を行う村井教授



熱心に授業に聞き入るSFCの学生



SFC校舎

テーマは「インターネットを使ったコミュニケーション」

「コミュニケーションネットワーク論」は、インターネットを使ったコミュニケーションの仕組みと、そのあり方について考察していく授業です。そして、インターネットに代表される新しいコミュニケーション環境を、技術面や社会面、文化面から理解し、創造的な次世代情報インフラストラクチャーをデザインできる力を付けることを目的としています。

この講座では毎週課題が出されるのですが、そのテーマは次週の授業内容をふまえて提示されます。たとえば、「インターネットの自立分散性」についての授業が行われる前の週には、「世界の主要都市、日本の主要都市から4都市を選んで、慶応大学湘南藤沢キャンパス（SFC）からそこまでの交通システムについて調べ、考察して下さい」という課題が出されました。

ルートを選定するには、
手段／時間／値段／乗り継ぎ回数
を考慮しなければなりません。これはそのまま

インターネットにおける「経路制御を決めるときのポリシー」にあてはめられるのです。こうして、既存のコミュニケーションと比較しながらインターネットの仕組みを学んでいくことができるのです。

新しい情報インフラを
創造するために

この講座には、インターネットの歴史から最新のネットワーク技術まで、インターネットのあり方と新しい情報インフラストラクチャーを考えるためのたくさんの情報がつまっています。インターネットを専門的に勉強していたり仕事に使ったりしている人はもちろん、インターネットの仕組みを知りたいという初心者の人にとっても参考になるのではないのでしょうか。

SFCでの授業そのものは7月6日で終了しますが、過去の講座と同様にライブラリーとして保存されます。今後もインターネットについて考えるときの「参考書」として活用してほしいものです。

1998年度春学期コミュニケーションネットワーク論 授業計画

- 第1回 授業概要 デジタルコミュニケーションインフラストラクチャー
- 第2回 インターネットのコミュニケーションモデル
- 第3回 インターネットの自律分散性
- 第4回 インターネットプロトコル
- 第5回 経路制御とTCP
- 第6回 Congestion Control 通信のインフラストラクチャー
- 第7回 安全性
- 第8回 コミュニケーションサービス
- 第9回 表現とインターネット
- 第10回 社会制度とインターネット
- 第11回 インターネットのグローバルガバナンス
- 第12回 次世代インターネットの設計

アンケート調査に見る98年の受講者

どんな人が授業を受けているのか

98年6月7日の時点で、SOIの入学手続きを済ませてアンケート調査に参加した人は406人にのぼります。この数字には、実際に大学で授業を受けているSFCの学生と、学外の受講者が含まれています。

今年度の参加者は、どんな人たちなのでしょう。アンケート調査結果の一部を見てみましょう。

男女比は3：1

受講者の性別を見ると、男性が290人、女性が92人となっており、約3：1の割合になっています。

年齢は、受講生の65パーセントが大学生ということもあって、10代と20代を合わせると全体の7割以上を占めます。これに次ぐのが30代の9パーセントですので、日本のインターネットのユーザー層にほぼ重なるのではないのでしょうか。

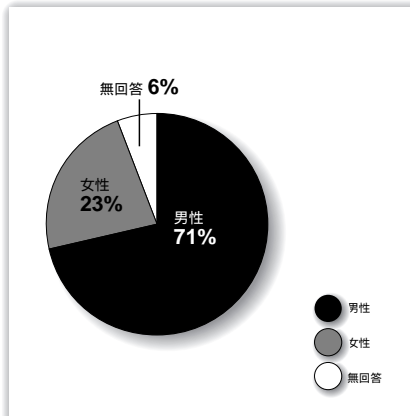
増加する社会人の受講者

97年度末に実施された2つの講座の授業調査（学生が授業を評価する無記名アンケート形式の調査）の結果を見ると、全体のほぼ9割がSFCの学生で、社会人は1割に達しませんでした。これに対して、98年度は社会人が全体の3割近くを占めています。これは「インターネットを学びたい」と考えている社会人が勉強する場を得て、SOIに参加しているということでしょう。

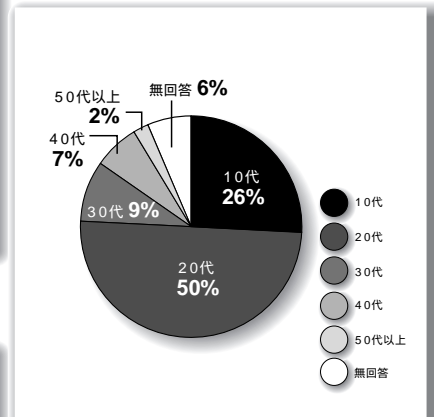
受講場所を見てみると、「自宅」と答えた人が28パーセント、「職場」と答えた人が11パーセントでした。「自宅で授業を受けると電話がかかって大変だ」という意見も寄せられていますから、職場から受講している人は企業内LANから接続していると考えられます。

こうして、SOIには年齢や仕事、受講環境を越えてたくさんの受講者が集まっています。新しい大学の形を模索していくのがSOIの目的です。ぜひもっと多くの人に参加していただきたいと思います。

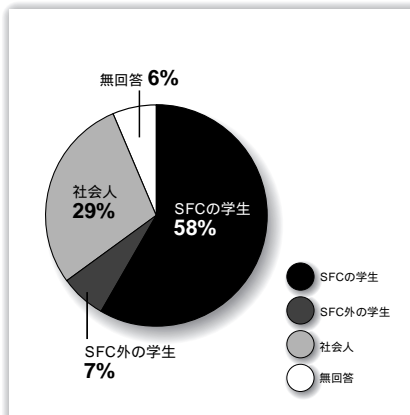
① 受講者の性別



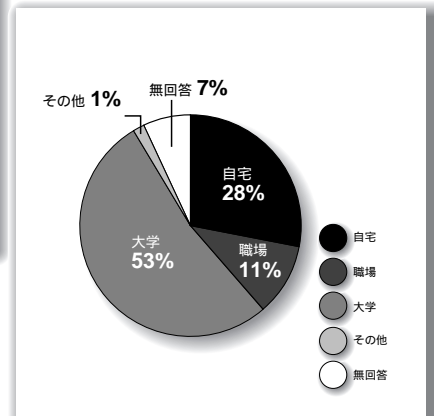
② 受講者の年齢



③ 受講者の所属



④ どこで受講しているか



New

7月以降も新しい講座が続々と開講
詳細はSOIプロジェクトのページをご覧ください！

URL <http://www.sfc.wide.ad.jp/soi/>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社**インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp